



「秋空」

【写真提供：夢科写真クラブ】



風見鶏

「天災は忘れた頃にやってくる？」
日本は災害大国である。地殻にはユーラシア・北米・太平洋・フィリピン海の4つの巨大なプレートと無数の活断層がひしめき合い、国土の

約7割は山岳地帯で急峻な山地と短い河川が多い。このことが地震の頻発と土砂災害の要因に繋がるらしい。加えて、近年は気候変動の影響により記録的豪雨や大型台風が発生頻度も高まっているとのことである。今年に入っては、7月にまだ以前の地震の傷跡が残る熊本地方で震度7の大地震、また、各地で記録的豪雨による被害が相次いでいる。もはや「天災はいつでもやって来る」というべきであろう。ひるがえって立科町はどうだろう。近年では令和元年の台風19号で比較的大きな被害を被ったが、人的被害は無く生活が脅かされるような被害も少なかった。災害が少なく比較的安全・安心なところと言える。しかしながら近隣には「糸魚川―静岡構造線断層帯」という日本を南北に二分する国内最大級で地震発生リスクの高い活断層が存在する。この町には、まさに表題の格言が当てはまるのではないかと根拠の無い楽観視でなく、日頃の備えの重要性が増している。

以前、公民館関係者の研修会時に聞いた話だが、駒ヶ根市で豪雨による土砂災害が起きたときに、被災しそうな住宅にいた寝たきりの方をいち早く助けたのが、その地域の役員でもなんでもない一般の住民の方であり、同じような事例が幾つか見受けられたということである。防災対策は主には行政機関が中心となっていくが、いつ起こるか分からない災害の、特に重要視される初動でこういったことができるのは、やはり普段から顔の見える地域の繋がりが大切で、それを可能にするのは、住民の一番近くで活動する分館の力によるところが大きいのではないかと。

各地域の実情に即した分館活動が、より安心して住みやすい地域づくりに繋がっていくことに期待したい。

令和8年度立科町二十歳の式典

令和8年度立科町二十歳の式典を8月15日老人福祉センターにおいて開催しました。

式典終了後には、恩師からのビデオレターや当時の担任の先生に登場いただき、記念撮影を行いました。

祝賀会では、ココア揚げパンなど当時の学校給食を模したメニューが出され、久しぶりの給食の味に思い出話が弾みました。また、式典実行委員の協力により、ピング大会や「お笑い」ライブなどが行われ、旧友との楽しい再会・交流の場となりました。



代表挨拶

齊藤 天志

本日は、私たちのためにこのような式典を開催していただき、ありがとうございます。また、今日という日のために準備をしてくださった主催者・関係者の皆様に、参加者を代表して心よりお礼申し上げます。

今日こうして二十歳という節目を迎え、改めてこれまでを振り返ってみると、本当に多くの人に支えてもらいながら、ここまで成長してきたのだと感じます。

いつも一番近くで見守ってくれた家族、学校生活でお世話になった先生方、そして地域の皆様。普段はなかなか直接伝える機会がありませんが、この場を借りて感謝を伝えたいと思います。本当にありがとうございます。そして、中には幼稚園や保育園の頃からずっと一緒に過ごしてきた友人もいますが、そんなみんなにも、「ありがとう」と伝えたいです。今では、進学や就職など、それぞれ違う道を歩んでいますが、今日こうして久しぶりにみんなで集まったことを嬉しく思います。

これから私たちが生きていく社会は、AIを始めとする技術がものすごい速さで発達する一方で、世界では今も戦争や争いが続いています。変化が目まぐるしく、将来に不安を感じることも少なくありません。そんな中で二十歳を迎えましたが、二十歳になったからといって、昨日までの自分と今日の自分で、何かが急に変わるわけではありません。私自身、まだ分からないこともたくさんありますし、この先、立派な大人になれるのかと聞かれても、正直まだ自信はありません。それでも、自分の目標を持って、自分の頭で考え選択していくこと。そして、社会で起きていることを他人ごとにせず、自分もこれからの社会をつくっていく一人なんだという当事者意識を持つことを大切にしたいと思います。

失敗したり、迷ったりすることもあると思いますが、それも含めて、少しずつ成長していけたらと思います。

最後になりますが、本日の式典に携わってくださった皆様に、改めて感謝申し上げます。



祝 立科町二十歳の式典



町二十歳の式典式





少年スポーツ大会



令和8年度少年スポーツ大会が、8月23日(日)に開催されました。

小学生男女混合ディスクドッジ(15チーム)は、体育センター、中学生男女混合ソフトバレーボール(7チーム)は、中学校体育館にて行われ、各分館からの元気な応援の声に応じて、はつらつとしたチームプレーが見られました。



■ディスクドッジ

優勝 桐原連合
準優勝 牛鹿連合B
三位 赤沢連合A
三位 赤沢連合B

■ソフトバレーボール

優勝 桐原連合
準優勝 野方・西塩沢A
三位 野方・西塩沢B
三位 大城



ディスクドッジ
優勝 桐原連合



ディスクドッジ
準優勝 牛鹿連合B



ソフトバレーボール
優勝 桐原連合



ソフトバレーボール
準優勝 野方・西塩沢A



ディスクドッジ
3位 赤沢連合A



ディスクドッジ
3位 赤沢連合B



ソフトバレーボール
3位 野方・西塩沢B



ソフトバレーボール
3位 大城



分館対抗球技大会

8月30日(日)、令和8年度分館対抗球技大会が開催されました。

今年で36回となるソフトボール大会には、10チームが参加予定でしたが、前日からの雨によりグラウンドの状態が悪く、残念ながら大会は中止となりました。

第50回バレーボール大会は体育センターで開催され、4チームが白熱した試合を繰り広げました。各分館の応援も熱が入り、選手の素晴らしいプレーの原動力となりました。

ソフトボールもバレーボールも、何度か練習を重ね大会に臨んでおり、ソフトボール大会の中止は大変残念でしたが、また来年の大会での成果を期待しています。

選手・分館役員の皆さん、大変お疲れ様でした。

大会結果は、次のとおりです。

◆バレーボール

優 勝	野方分館
準優勝	町分館
三 位	桐原連合分館



バレーボール
準優勝 町分館

バレーボール
優勝 野方分館



バレーボール
三位 桐原連合分館



分館紹介

中尾・美上下分館

中尾・美上下分館の紹介

分館長 岸 洋平

私が中尾美上下地域に移住して16年が経ちました。山々に囲まれた静かな暮らしは、今も変わらない地域の魅力です。

一方で、この歳月の中で環境や地域の姿は少しずつ変化してきたと思います。かつてに比べ夏は確実に暑くなり、冬の雪かきは回数が減ったと感じます。

山あいの傾斜地や道路沿いに集落のある私たちの地域では、近年の激しい大雨による土砂災害への不安も、より身近で切実なものとなってきました。

こうした自然環境の変化に加えて過疎高齢化も進み、構成員は当時より減少してきています。



役員のなり手不足もあって、かつてのような賑やかな行事や分館活動は縮小や見直しを余儀なくされているのが現状です。

災害への備えや地域の繋がりをどのように維持していくかという課題を抱えながら、現在の分館活動は状況に合わせた模索が続けられています。

様々な変化と課題に向き合いながら暮らす当地域の姿をお伝えいたしました。今後とも中尾美上下分館をよろしくお願いいたします。



公民館生涯学習講座 「立科すすらん学級」

五無斎カルタとり大会

恒例となりました「五無斎カルタとり大会」を、五無斎保科百助研究会、お話バスケットの皆さん協力のもと6月27日(土)に開催しました。

まずは、お話バスケットの皆さんによる五無斎保科百助の一生を描いた紙芝居上演があり、その後、「五無斎狂歌カルタ」の大型版を机に並べ、大人と子ども一緒にカルタとりを楽しみました。

各地区の公民館にも「五無斎狂歌カルタ」をお配りしてありますので、皆さんも是非やってみてください。



映画鑑賞会 『父と僕の終わらない歌』

7月11日(土)に老人福祉センター集会室において、地域包括支援センター共催により、映画『父と僕の終わらない歌』の鑑賞会を開催しました。

この映画は認知症をテーマにした作品で、好きだった歌を通して、家族、地域が繋がっていく、実話を基にした物語です。

上映後のアンケートでは「認知症という病気についてもっと知りたい。」「家族の体験談を聞きたい。」など感想をいただきました。



新着本の紹介

「にぎっちゃ だめ！」

(チョーヒカル/著 白泉社)

「やっちゃだめ」と言われると、ついやってみたくなる。ケーキに、トマトに、ほかほかごはん。手でにぎったら、いったいどうなる！？にぎるたびに変わる家族の表情にも注目。リアルなタッチで描く、チョーヒカルの絵本。



「台湾漫遊鉄道のふたり」

(楊 双子/著 三浦 裕子/訳 中央公論新社)

昭和13年、台湾。作家・青山千鶴子は、台湾人通訳・王千鶴と出会い、台湾縦貫鉄道の旅に出る。つぎつぎ台湾の味に魅了されていく千鶴子だが、いつまでも心の奥を見せない千鶴に焦燥感を募らせていく。

年間貸し出しランキング

(2025.8～2026.7貸し出し)

《一般書》

- 1位 エピクロスの処方箋 (夏川 草介/著 水鈴社)
- 2位 マスカレード・ライフ (東野 圭吾/著 集英社)
- 3位 イン・ザ・メガチャーチ (朝井 リョウ/著 日経BP日本経済新聞出版)
- 3位 神様ショッピング (角田 光代/著 新潮社)
- 5位 国宝 (吉田 修一/著 朝日新聞出版)

《絵本・児童書》

- 1位 大ピンチずかん 3 (鈴木 のりたけ/作 絵 小学館)
- 2位 パンどろぼうとスイーツおうじ (柴田 ケイコ/作 絵 KADOKAWA)
- 3位 大人も知らないみのまわの謎大全 (ネルノダイスキ/著 ダイアモンド社)
- 3位 だっこずしまぐろはどこだ？ (青柳 有美子/作 絵 金の星社)
- 3位 パウ・パトロールパウととー！ うんてんえほんでしゅつどう！ (学研プラス)

寄贈者 (順不同・敬称略)

たくさん図書の寄贈をいただき、ありがとうございました。紙面にてお礼に代えさせていただきます。

〔本〕 三矢工業 (株) (一財) 志縁の苑

他匿名多数

図書室利用案内

■お一人5冊まで (新刊本、雑誌は4冊)

■2週間借りられます

開室時間 ●月曜日～金曜日 午前10時～午後6時
●土曜日 午前10時～午後5時
●日曜・祝日 午後1時～午後5時

閉室日 ●毎月最終週の月曜日
●5月3日 (憲法記念日) 5月4日 (みどりの日)
●年末年始
●蔵書点検、館内清掃など特別に決めた日

おはなし会のお知らせ

「ちいさなおともだちのおはなし会」

日時 10月28日(水) 午前10時30分～

場所 中央公民館 視聴覚室

対象 未就園児親子

内容 絵本、紙芝居、ペープサート 等

「本」とあそぼう おはなし隊

全国訪問おはなし隊が立科町に来ます！

日時 10月18日(日) 午後3時～

場所 立科町中央公民館

内容 550冊の本を積んだキャラバンカーでの自由読書とおはなし会

※参加無料、申し込み不要

※詳細は、中央公民館内掲示のポスター、たてしなびをご覧ください。

中学生が職場体験をしました！

7月、立科中学校2年生が、図書室で職場体験を行いました。

カウンター業務の他、新着本を受け入れてから棚に並べるまでのバックヤードの作業も体験しました。

2日間の体験のなかで、おすすめ本を紹介するPOPの作成が楽しかったと感想を寄せてくれました。中学生が作成したPOPは、図書室に掲示してあるので、是非ご覧ください。

この体験を通しての新たな発見や学びを、今後の進路に役立てていただければ嬉しいです。



●図書室の蔵書検索はこちらから

スマートフォン

<https://opac.libcloud.jp/tateshina/>



携帯電話

<https://opac.libcloud.jp/tateshina/wopc/pc/mSrv?dsp=TP>



パソコンは、立科町公式ホームページ
トップのバナーをクリック！

デジとしょ信州 (市町村と県による電子図書館) のお申し込みは、
図書室カウンターまでどうぞ！

公民館図書室では、立科町にお住まいの方の申請を受け付けています

デジとしょ信州



「らくらく音楽倶楽部」音楽は楽しむ事！

太田 徳子

当クラブは、生涯学習講座の「らくらく音楽講座」で1年間のカリキュラムを終了し卒業後に、1期生が立ち上げた活動です。発足して今年で丸1年の若いクラブですが、60代から80代の皆さんが音楽を楽しんでいます。

人生初めてピアノを弾いた方、子どもの頃に習っていた方、趣味で始めた方、老化防止で習っている方と様々です。一人でピアノを弾くだけでなく、オーケストラの様に各自のパートを片手で演奏し、一つの曲を仲間と共に作り上げる事で、意欲や達成感、喜びと楽しさを得ています。

演奏する事で、「老化・認知症予防」「脳活」にも効果が有る事は承認されていますが、音楽は誰でも楽しめる事です。昨年の「公民館まつり」に参加して自信もついてきました。

今後の予定として、

10月27日(火)「らくらく音楽講座」三期生による卒業ミニコンサート、

11月10日(火)五期生募集説明会を、ともに10時30分より公民館視聴覚室にて行います。どなたでも気軽に越してください。

講座や倶楽部への見学は、毎週火曜日午前10時30分〜と、午後1時30分〜、公民館視聴覚室で行っていますので、少しでも興味のある方は覗いてみてください。

また、12月6日(日)午後1時30分より、倶楽部と講座合同による「クリスマスコンサート」を公民館大会議室にて行います。お茶とケーキ、抽選会等も予定しております。詳しくは、公民館または講座や倶楽部までお問い合わせください。



第54回立科町文化展のお知らせ

公民館では、本年も町内における文化活動の発表の場として、文化展を開催します。

文化展では、町内のグループに所属されている皆さんの作品をはじめ、児童・生徒の皆さんの作品等、さまざまな文化作品が展覧されます。ぜひ会場へ足をお運びください。

また、日ごろの文化活動を発表する良い機会ですので、多くの皆さんの出展をお願いします。

- ◆期 日 11月6日(金)〜11月8日(日)
- ◆時 間 午前9時〜午後8時まで(8日は午後3時まで)
- ◆場 所 立科町中央公民館
- ◆出品申込 10月14日(火)までに中央公民館へご連絡ください。

創作グループ・団体の皆さんへは、別途代表者へご案内いたします。

ご不明点・詳細は中央公民館(0267-88-8417)までお問い合わせください。



編集後記

令和8年度も上半期が終了しました。「すずらん学級」では、「湯の丸高原コマクサ園散策ツアー」を計画しましたが、W台風の襲来で中止となってしまいました。参加を楽しみにされていた皆さん、来年も計画しますので、晴れることを祈っててください。

その他、猛暑の中、「二十歳の式典」「少年スポーツ大会」「分館対抗球技大会」等々、皆さまには多くの公民館事業にご協力、ご参加いただきましたことを、心より感謝申し上げます。

また、本号へご寄稿いただいた皆様、お忙しいところ、本当にありがとうございました。

公民館には、毎日、グループ活動の皆さんが来館されますが、一人でいくつも活動をされている方も多くて、その熱意と精神的な若さに驚かされます。自分がやりたい、やってみたくを形にすることは、なかなか難しいものです。仕事や家庭、地域の付き合いがある中で、一歩が踏み出せない方もいるのではないのでしょうか。

公民館では、「人生百年時代を笑顔で過ごしたい！」そんな思いで、皆さんの一歩につながる講座を、皆さんの声を聴きながら一緒に作っていきたいと思います。

グループ活動についても、興味のある活動があればお問い合わせください。この秋、あなたは何をして過ごされますか？

(H・A)